

TeXtremeの特長 1

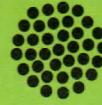
テキストリームカーボンとは

テキストリーム



テキストリームカーボンは千〜数万本の炭素繊維が横に広げられた開織糸を使用。薄い構造なので出来上がりの織物は薄く、また、表面の凸凹が少ないため組み合わせた時の強度も強くなる。

カーボン原糸



一般的に、炭素繊維が千〜数万本の束になっているカーボン原糸の断面図は丸に近いもの。そのため、カーボン原糸同士を編み込むと丸と丸の間に隙間ができ、それが厚みとなり強度も下がることに。

テキストリームカーボンの特長

テキストリームカーボン

従来のカーボン



1 断面図が扁平の開織糸を使用しているため、従来のカーボンより薄くても強度は同じ。

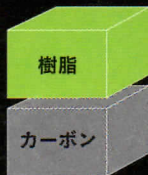
2 織物表面の凸凹が少ないため、編み込んだ時に強度が強くなる。

3 従来のカーボンよりも少ない接着剤で編み込めるため、同じ強度でも軽い。

炭素繊維と樹脂で構成されているカーボンは、炭素繊維の量が同じであれば強度は同じ。平たい開織糸を使うテキストリームカーボンは、丸い原糸を使う従来のカーボンより使用する樹脂が少ないので「同じ強度でも軽い」のが特徴だ。

重量を同じにすると、従来のカーボン製品に比べ炭素繊維を多く使えるので「同じ重さであれば強度が高い」ラケットがテキストリームだ。

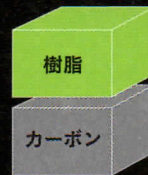
通常のカーボンコンポジット



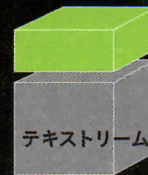
テキストリームのカーボンコンポジット



通常のカーボンコンポジット



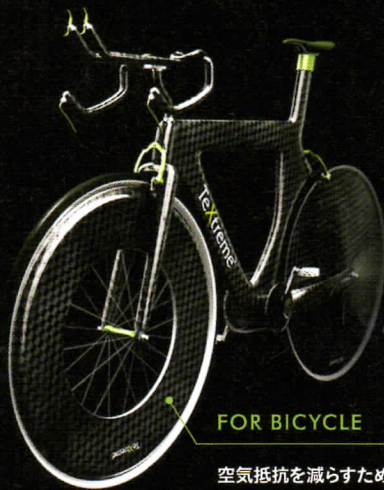
テキストリームのカーボンコンポジット



TeXtreme Background

FOR FORMULA ONE

1gの重さの差が勝敗を分けるくらい技術の粋を集めたのがF1マシン。それでいて安全性を保証する強度が求められるのだが、そこで使われているのがテキストリームカーボンなのだ。



FOR BICYCLE

空気抵抗を減らすためのホイールカバーは、重ければ空気抵抗を減らす以上の負担となってしまう。テキストリームカーボンは、そうしたシビアな条件をクリアしているのだ。

